

2012年

No.95

発行者

社会福祉法人健康の森学園

発行責任者 施設長 真鍋 衛

〒718-0313

岡山県新見市哲多町大野2034-5

TEL 0867-96-2995 FAX 0867-96-2998

# すずらん

岡山県  
健康の森学園

## 開園二十周年記念式典



### 開園二十周年 新たな出発を

理事長 岡田 壽

平成二十三年十一月九日、深まりゆく秋空の下で、多くのご来賓と本学園設置者の石井正弘岡山県知事のご出席のもとに、開園二十周年を祝う記念の式典を開催しました。

本学園は平成三年四月、「大地育人（大地は人を育む）」の理念を掲げ、健康の森の豊かな自然の中で、施設と学校が一体となって園生の自立と社会参加を促進することをめざして開園しました。開園当初は石拾いに明け暮れた田畑も、根気強く黙々と、しかも自信を持って働く園生のみなさんの力によって実り豊かな農場に整備されました。現在では、野菜や花、水稻、シイタケなどの栽培、鶏や和牛の飼育、炭焼き、農産加工品の製造など本格的な農林作業に取り組み、生産した農産物等は、地域の多くの方々にご利用いただいております。これらの作業活動への取り組みをとおして、園生のみなさん一人一人が働く力をより確かなものにし、これまでに約六十名が訓練を修了して新見地域をはじめ県下各地の事業所で働いています。

開園からすでに二十年、時代とともに障害に対する概念や地域社会の意識も進展し、障害者制度の改革も進んできました。そのような中、本学園授産施設も平成二十二年四月からは、障害者自立支援法による新体系事業所である障害者支援施設と就労継続支援事業所に移行しました。園生（利用者）のみなさんが地域で安心して暮らせるように、社会に出てもっと働けるように、一般就労ができるようにと訓練（サービス）体系を再編するとともに、地域生活を支援するためのグループホームも拡充するなど、様々な改善を図ってきました。開園二十周年を節目として、園生（利用者）のみなさんそれぞれが、目標をしっかりと持ち、明るく生きがいをもって生活できるように、支援の一層の充実強化に努めていきたいと思っています。



## 健康の森学園 開園20周年記念式典

平成二十三年十一月九日健康の森学園開園二十周年記念式典が運動機能訓練等で、設置者の岡山県知事の石井正弘氏をはじめ、来賓の方、学園に関わられた方、支援団体、園生職員等で盛大に行われました。式典ではまず、岡山県知事の石井氏が挨拶され、岡田学園長式辞・来賓祝辞の後、功労者表彰で感謝状が元学園長の竹本博明氏らに贈呈されました。また、園生代表挨拶では、施設の大塚一克さんが、

「健康の森学園の大自然の中での作業、集団生活は僕たちに、どんなことにもへこたれない心の強さ、ちよつとのことでは弱音をあげない健康で丈夫な体を与えてくれました。現在、僕は新見市内のグループホームで生活し、学園に通っています。地域での生活はとても楽しいです。多くの園生が地域で自分たちの生活を楽しく送れるようになることを願っています。」

最後に、これからも、健康の森の大地にしっかりと根をはり、力強く生きていきたいと思います。」と約三〇〇名の参加者の前で堂々と話すことができました。

### ●●●20年前の様子●●●



とんど



植樹祭



そうめん流し



花見（河本ダム）



瀬戸大橋（遠足）



牧草地予定地



牛舎建設



鶏舎建設



ひよこの餌やり



田植え祭



## 収穫祭

十月二十九日、天候にも恵まれ、第二十一回収穫祭が開催されました。今年も各班の特性を活かした特産物の販売を行い、模擬店では豚汁、おこわ、おでん、焼き鳥、ぜんざい、お餅等を買って求めて大勢の列ができていました。また、午後からのアトラクションでは、ボランティアとして岡山県警察音楽隊が来園され、迫力ある演奏で、楽しく鑑賞することが出来ました。



## マラソン大会

今年は十二月九日にマラソン大会が開催されました。肌寒い中、他施設や本郷小学校の児童を招き、1、2、3、5キロの各コースに分かれて走りしました。練習の成果を発揮し、全員リタイアすることなく完走することが出来ました。



## 学習発表会

二月十九日、第二十一回学習発表会を健康の森学園の運動機能訓練棟で行いました。今年度施設は、「プロフェッショナル 施設の流儀」と題し、各班の作業の流儀、利用者一人ひとりの流儀・こだわりなどを映像を取り入れながら紹介・発表しました。



## 新見福祉フォーラム

平成二十四年一月二十二日にまなび広場にいみ小ホールで新見フォーラムが開催され、障害のある方や家族、福祉・教育関係者などが参加されました。

オーブニングイベントでは、新見高校吹奏楽部による演奏がありました。次に当事者有志による詩の朗読会に続き、行われたトーク&コンサートでは、「夢見る力を信じて」とともに生きる未来へ」と題して音楽家前川裕美さんが、小学校五年生の時、網膜色素変性症と診断され、視力を失っていく中で、たくさんさんの困難に向き合い、様々な出会いと経験をしたことを話されました。その後、ピアノによる弾き語り、人に対する思いやりと感謝の心を伝えたいと演奏され、とても透き通った声で、心が癒されました。



### 退所された利用者

広末桂一（十一月）ときわ学園へ  
河原千鶴（十一月）自宅へ（就職）  
金石弘志（十一月）神郷の園へ

### 入所された利用者

杉田雅夫（三月）就労移行支援事業

## 退職された職員

津村由香里（11月）  
三上 幸（12月）

学園の開園と同時に就職し、二十年間お世話になりました。田畑に山積みになった土を一輪車で運んでならし、山から木を切り出して鶏舎造りをしたこと等が、懐かしく思い出されます。毎日の力仕事にくじけそうになる度、黙々と頑張る利用者の人達の姿に、いつも私の方が励まされていました。それでも年々収穫できる生産物が増え、みんなで来年度の作業を考え、作り上げていく日々は、楽しくとても充実していました。そんな活気溢れる創設期に関わらせていただいたことは、本当に幸せだったと思っています。今は、グループホームも増え、地域から大勢の利用者の人達が通って来ています。みんなの生き生きとした笑顔を見る度、もっと多くの人達が、いろいろな形で地域生活ができればいいと願っています。温かい皆さんに囲まれ、のびのびとお仕事をさせていただいたこと、今は感謝の気持ちで一怀です。ありがとうございました。

三上 幸

## 新任職員紹介

定岡眞理子（自立訓練事業）

出身地は哲多町です。住所は新見市新見です。天秤座で血液型はA型です。家族は七人家族です。昨年の十一月より働かせて頂いています。皆様どうぞよろしく願いいたします。

立森ゆかり（自立訓練事業）

お世話になっております。民間企業に五年、臨時の実習助手を一年四ヶ月勤務しました。農業高校で三年間牛と関わって幸せです。和太鼓を十年やっています。虫が大嫌いです。よろしくお願いたします。



# 施設サービスアンケート調査結果（平成23年度）

対象者（施設利用者46名、保護者21名 合計67名）

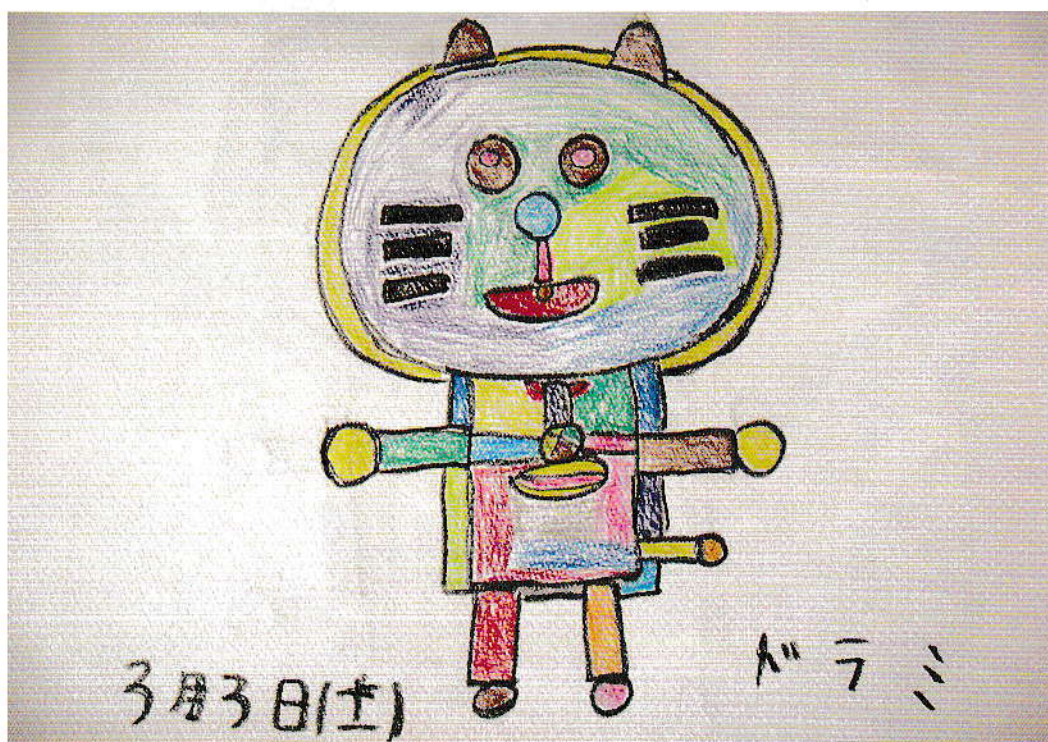
|                    | 満足 | まあまあ満足 | どちらでもない | いくらか満足 | 不満 | 無記入 | 合計 |
|--------------------|----|--------|---------|--------|----|-----|----|
| 建具・設備に支障ありませんか     | 26 | 10     | 10      | 5      | 6  | 8   | 67 |
| 職員の態度はどうでしたか       | 25 | 20     | 7       | 4      | 5  | 6   | 67 |
| 職員の言葉づかいはどうでしたか    | 22 | 15     | 16      | 1      | 7  | 6   | 67 |
| 職員の支援技術は適切ですか      | 23 | 21     | 10      | 1      | 4  | 7   | 67 |
| 職員の対応が早いと思われましたか   | 23 | 18     | 12      | 1      | 6  | 7   | 67 |
| 食事の内容はいかがでしたか      | 29 | 15     | 10      | 3      | 2  | 8   | 67 |
| 専門的な助言・援助が得られましたか  | 19 | 19     | 17      | 4      | 2  | 6   | 67 |
| 気兼ねなく相談ができましたか     | 24 | 21     | 9       | 4      | 3  | 6   | 67 |
| 期待通りのサービスになっていましたか | 26 | 16     | 14      | 2      | 2  | 7   | 67 |
| 約束した支援が実行されていますか   | 25 | 20     | 10      | 1      | 2  | 9   | 67 |
| 非常時の対応などに不安はありませんか | 25 | 14     | 13      | 4      | 2  | 9   | 67 |
| 必要な情報について伝達は適切でしたか | 21 | 18     | 12      | 4      | 2  | 10  | 67 |
| 利用を継続したいと思われますか    | 46 |        | 13      |        |    | 8   | 67 |

## 編集 後記

学習発表会では、「プロフェッショナル」と題して発表しました。これは、NHKの番組にあり、私の大好きな番組の一つです。この番組を見るたびに、福祉のプロとして自分は何ができていくのか、いつも自問自答しています。これからも信念をもって前に進んでいきたいと思っています。

広報担当一同

## 利用者の絵



題名「ドラミ」 大前卓己さん